

霊場 『滝寺不動・毘沙門堂』

上巻 観光案内協会会長

永見完治

大河ドラマ「天地人」の放送は、これ程大きな影響を及ぼすのかということを実感する毎日です。

舞台になった「春日山城跡」をはじめ、ゆかりの「林泉寺」「天地人博」「上杉戦国物語展」を訪れる観光客の多さに驚かされるのです。恐らく、上越市民にとって初めて経験することと申し上げてよいかと思えます。

そんな中で、謙信公が籠った「毘沙門堂」をイメージできる場所はどこかという観光客が実に多くありました。

私は、その場所は二ヶ所あると申し上げています。

ひとつは、国宝「大日如来」が鎮座する岩殿山であり、もう一ヶ所は滝寺にある「滝寺不動」であります。

岩殿山には、あの大國主命と奴奈川姫が住んだと伝えられる岩屋跡があり、謙

信公が自らの墓をこの地に建立せよと言ったという伝承があります。高野山・林泉寺と三ヶ所を指定したとされます。

かつてこの地方の観光スポットの最右翼に挙げられていたとされる滝寺不動と毘沙門堂は、滝が流れ落ちていて靈気に満ちた空間です。

春以来、ずいぶん多くの皆さんを案内しましたが、最近の記憶に残る人物では大河ドラマ「天地人」で時代考証をされておられる小和田哲男静岡大学名誉教授でしょうか。

『日報政経懇話会』で講演を終えた後に、「桑取」を訪ねたいということになり、その案内をするという機会に恵まれたのです。

桑取集落は、天地人の放送の中で兼統が兵糧を求めて走ったことで全国へ発信されたことで話題になったところですが、

中桑取や大瀧の古老とは二十年近く前から面識があり、取材や古道を歩く会で親しくさせて貰っていたことが有効であり、先生にも満足してもらえたと思えます。

中ノ俣集落へも足をのばし、既に夕方になってしまいましたが「よく話題になる春日山城下の『毘沙門堂』をイメージできる場所である滝寺不動を案内しましょうか」と問いかけてました。

さすがに凄いと感じたところは、その反応の素晴らしさでした。

是非にとすかさず返事が返って参りました。

靈気を感じさせますねと話しながら、カメラに流れ落ちる滝を収める姿が印象的でした。

続いて毘沙門堂まで足を伸ばしました。

上杉軍が出陣の際に必勝の祈願をした場所がここであると話をしながら、古くから朝鮮から渡来した陶工が器を焼いたという伝承を熱く語りました。

滝寺集落から向橋集落まで続く山々の土は陶器に適していて、古い窯跡が多く残っているとされます。

和銅五年（七二二）に開かれたとされる毘沙門堂の秘仏「毘沙門天像」は三千年に一度の御開帳であるとされています。



左：小和田哲男先生 右：永見完治さん 滝寺不動入口にて

大河ドラマ「天地人」の影響で、この毘沙門堂から続く古道の先にある「滝寺」まで住民が草刈りをして歴史の道を復活させたという話を聞きました。

謙信公祭の開始を告げる『狼煙上げ』に参加し、それに続く『にいがた狼煙プロジェクト』にも積極的に参加するという声も聞いています。

京都は千年の古都といえます。

春日山城跡の本丸にあった「春日神社」は奈良の春日大社の霊を招いて創建されたといえますから、千年を越えた歴史を春日地区は紡いできたと言えます。

春日山は、かつて『鉢ヶ峰』と呼ばれて八幡太郎義家が遠征の際に立ち寄ったという伝説をもつこの地方の誇る名山なのです。

滝寺不動は、もっと大切に見直されるべき霊場とは言えないでしょうか。



滝寺不動（今回の表紙）



毘沙門堂



毘沙門堂の鳥居



滝寺不動の鳥居



滝寺不動入口



永見完治氏デザインの「謙信公Tシャツ」をJネット会員の方に特別販売します。価格は一枚二、一〇〇円（税込み）送料はJネットが負担します。FAXでJネット事務局まで申し込みください。

①「龍」または「愛」

②カラーは「黒」または「白」

③サイズは3L、2L、L、M、S、XSです。

④購入枚数